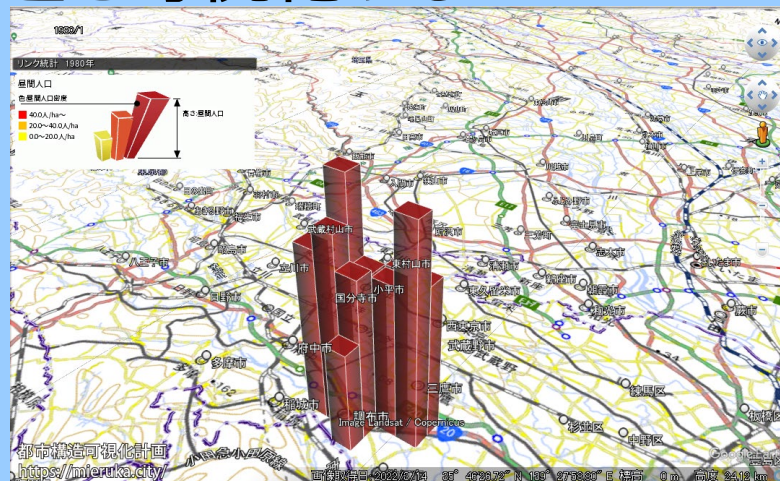
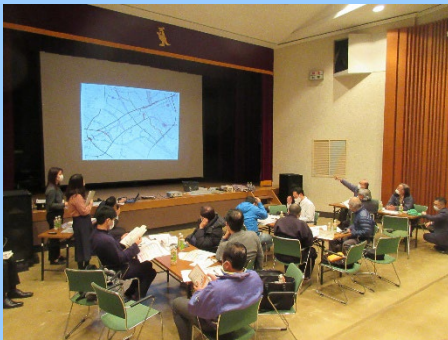


地域住民とのまちづくり検討 における可視化ツールの活用 ～まちが抱える課題を可視化する～



都市構造可視化計画、地理院地図を使用

調布市都市整備部都市計画課

1.京王線つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区におけるまちづくりについて

つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺の現況 < 1 >

●つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区は、両駅を中心に商店街が広がり、多世代が暮らす落ち着いたある住宅街となっています。地区周辺においては、国分寺崖線や野川の水辺など緑の広がりによりうるおいのある都市環境が形成されています。

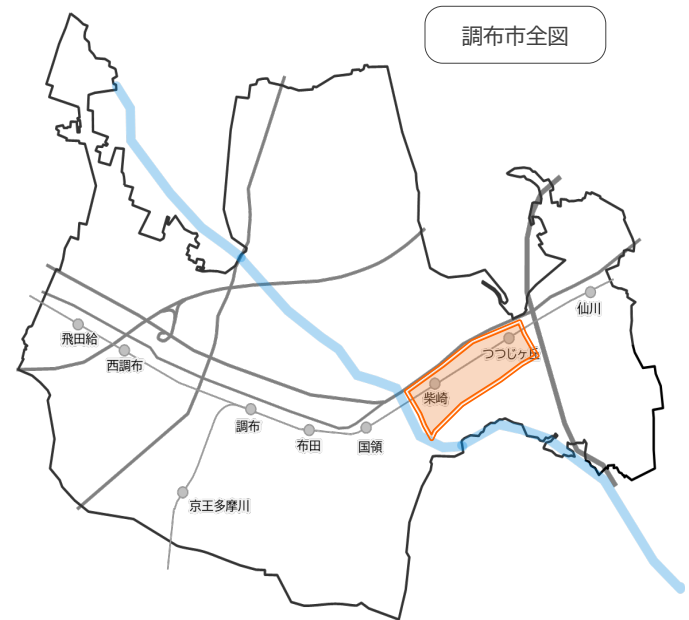
●つつじヶ丘駅は、急行停車駅であるとともに、路線バス網も充実していることから、観光地である深大寺へのアクセス駅となっているなど、東部地域の交通結節点としての役割を担っています。駅北側に行政サービス施設や業務・商業施設が立地

する一方、南側は生産緑地などの都市農地と住宅地が共存した市街地が形成されています。

●柴崎駅周辺においては、駅北側は地域住民の暮らしに密着した商業施設が集積しており、駅南側の低層住宅地と合わせて一体的な市街地が形成されています。また、地区の南側は、神代団地が立地されており、多世代が暮らす良好な住環境が

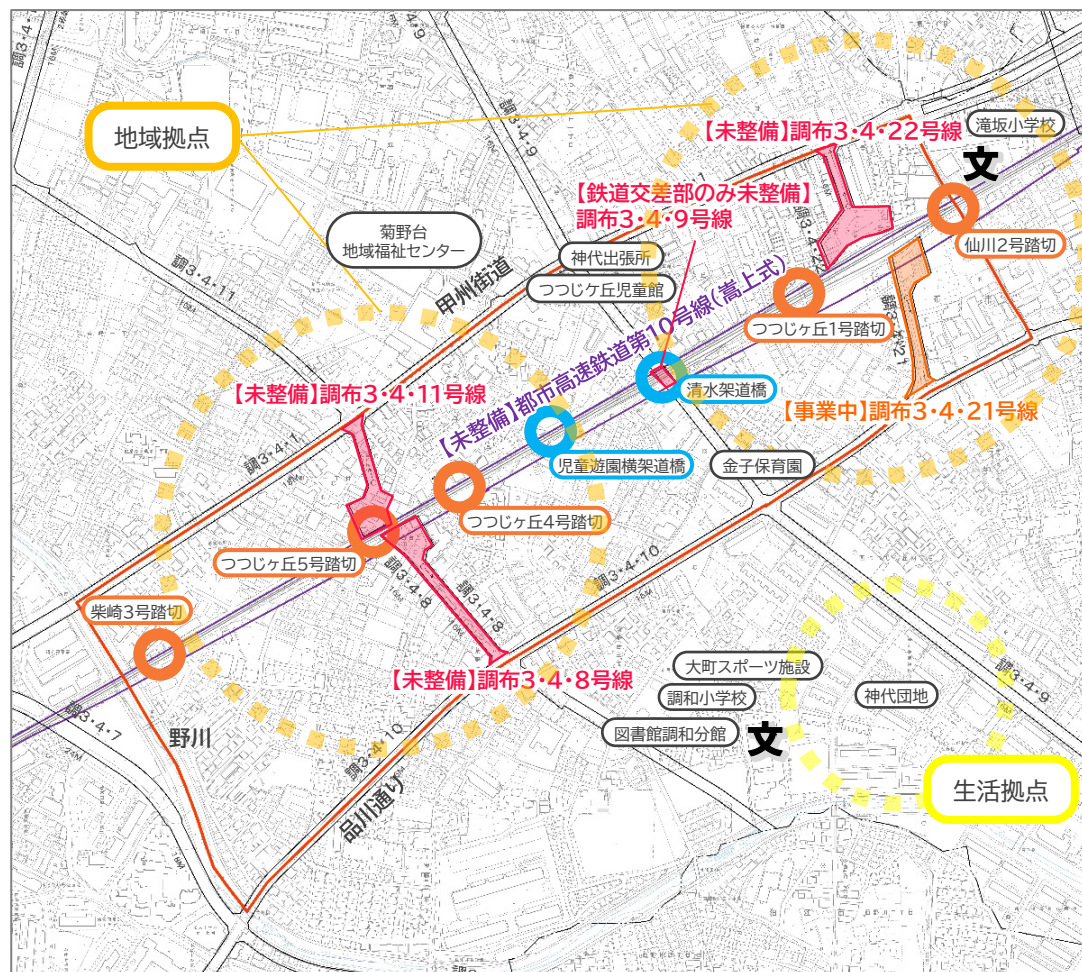
広がっています。

●両地区においては、地域住民との勉強会や意見交換を重ねながら、まちの将来像実現に向けて、まちづくりの方針を定めた上で具体的な取組を進めていきます。



1.京王線つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区におけるまちづくりについて

つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺の現況 < 2 >



1.京王線つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区におけるまちづくりについて

都市計画マスタープラン・立地適正化計画における対象地区の位置付け

■つつじヶ丘駅周辺

・ ・ 地域拠点

連続立体交差事業を見据えた交通環境の改善等により、市街地の南北一体化を図るとともに、地域コミュニティ関連施設等の立地による多様な機能の集積を図り、にぎわいある拠点を形成します。

■柴崎駅周辺

・ ・ 地域拠点

連続立体交差事業を見据えた交通環境の改善等により、市街地の南北一体化を図るとともに、駅前広場の整備等により、交通結節機能の向上に資する利便性の高い拠点を形成します。

■つつじヶ丘駅周辺から柴崎駅周辺まで

・ ・ 交流軸

つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺における開かずの踏切の解消に向け、当該区間における連続立体交差事業を見据えた取組の検討を進め、駅周辺における利便性の向上や、歩行者及び自転車の安全性の確保などを実現する軸を形成します。

■将来地域構造図



1.京王線つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区におけるまちづくりについて

地域住民との取組状況

市では連続立体交差事業を見据えた交通環境の改善等により、駅周辺の地域拠点形成を目指しています。

合わせて、市街化開発などの面的整備や、都市計画によらないソフトのまちづくりについて、地域住民との意見交換を重ねながら、まちの将来像とまちづくりの具体的な方策について検討を進めています。

つつじヶ丘駅周辺地区

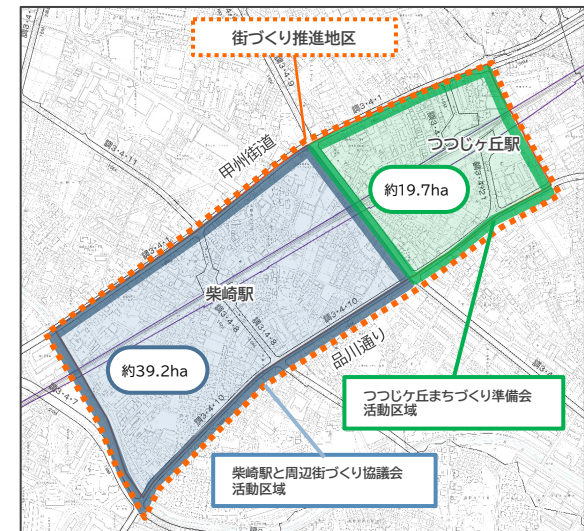
- つつじヶ丘まちづくり準備会 認定(10月)
- つつじヶ丘のまちづくりに関するオープンハウス(11月)
- つつじヶ丘まちづくり会議(ワークショップ)(1月)

柴崎駅周辺地区

- 柴崎駅と周辺街づくり協議会 認定(12月)
- 協議会発起人組合(主に旧準備会役員) 総会(1月)
- 柴崎駅と周辺街づくり協議会 設立総会(2月予定)

両地区共通

- 街づくり推進地区 街づくり審査会にて承認(12月)
- つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区まちづくり方針 策定(3月末予定)



2. 地域住民との共創のまちづくり

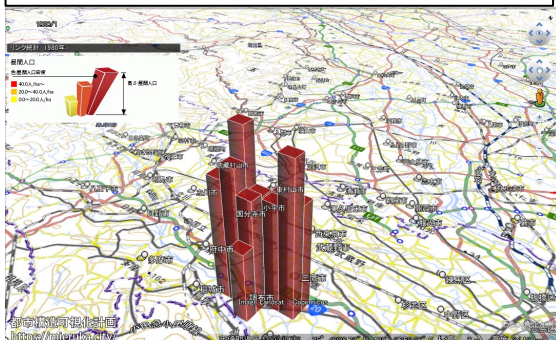
地域住民との意見交換における可視化ツールの活用

対象地域の現状や課題についてデータの整理等を行っていますが
地域住民に説明を行う際にはデータの可視化ツールが非常に有効だと考えています。

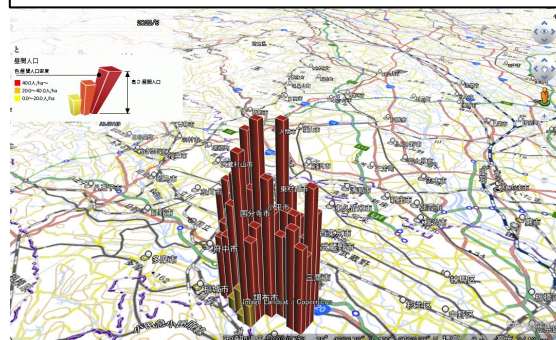
(活用例)

都市構造可視化計画、地理院地図を使用

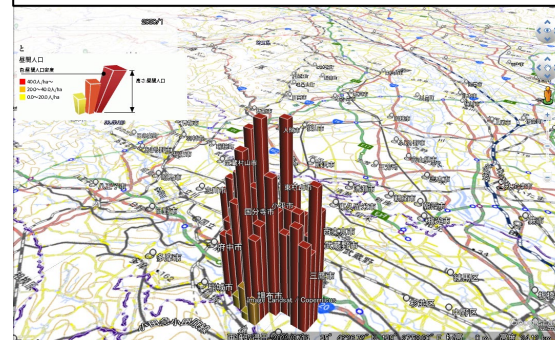
1980年 調布市 昼間人口



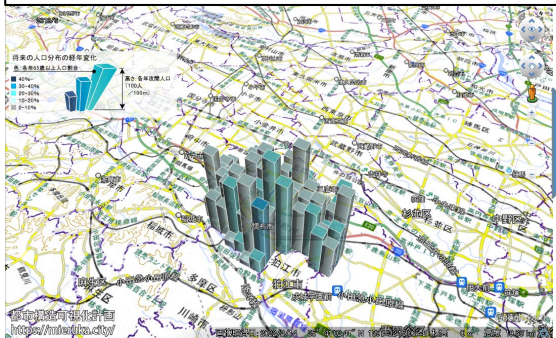
2023年 調布市 昼間人口



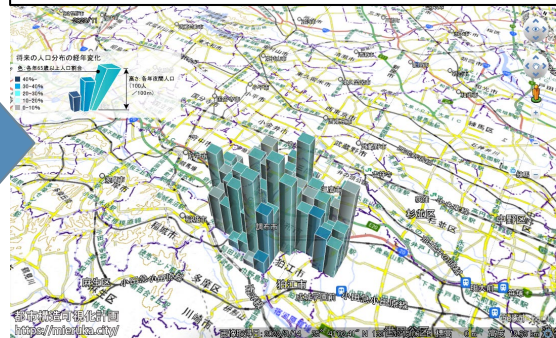
2030年 調布市 昼間人口



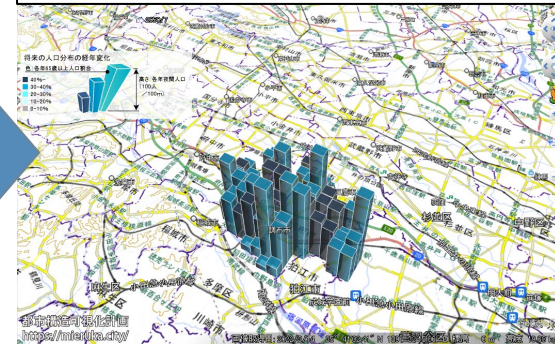
2010年 65歳以上 人口割合



2023年 65歳以上 人口割合



2050年 65歳以上 人口割合



3. 今後の活用方法について

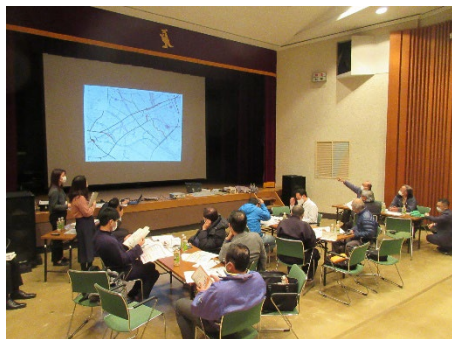
社会情勢を視覚的に把握しまちづくりに活用する

我が国では、平成20（2008）年度をピークに人口減少の局面に入り、今後も人口減少が予測されるとともに、さらに高齢化率は上昇を続けるなど、少子高齢化が進行することが予測されています。

こうした人口減少や少子高齢化は、労働力の低下や医療・介護の需要の増加、地域コミュニティの希薄化に伴う高齢者世帯・子育て世帯の孤立などを引き起こすことが懸念されます。

市においては、現在も人口増加が続いていますが、令和12（2030）年頃には減少に転じることが予測されており、おおむね20年後の将来都市像を想定するうえでは、人口減少・少子超高齢社会に対応したまちづくりが求められています。

このような社会情勢の変化を地域住民と共有し、つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区のまちづくりを進める上でのヒントとするために、今後可視化データを活用します。



今後、写真のような形で地域住民とともにデータを参照しながら議論を交わすことが目標です

調布市の紹介

都市の紹介

調布市シンボルマーク



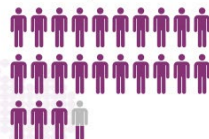
面積

21.58km²



人口

233,609人



市の鳥



メジロ

市の木



くすの木

市の花



さるすべり

世帯

119,535世帯



FC東京



©FC東京



映画のまち調布



調布花火

味の素スタジアム



オリンピック
パラリンピックの舞台に!

調布航空宇宙センター



日本最大規模の
スーパーコンピュータ、風洞を持つ

多摩川のきれいな水



時代劇・現代劇どちらの撮影にも
ふさわしい自然環境や
フィルムの現像に欠かせない
良質な地下水



日本三大だるま市の1つ
深大寺だるま市



新選組来像
新国宝指定



深大寺そば

(令和3年3月1日現在)